



PICK UP!

お問い合わせはこちらまで



高所・橋梁点検事業部

期間

2021年12月31日まで

温水除草システム

NETIS 登録商品

温水除草対応製品

【NETIS 登録番号 KK-210033】



ディーゼルエンジン式 防音温水型高圧洗浄機

仕様

型式名	SEL-1325V-2
ポンプ	圧力MPa(kgf/cm ²) 24.5(250) 水量(L/min) 13.3 回転数(min ⁻¹) 1220
エンジン	名称 水冷4サイクルディーゼルエンジン 総排気量(cc) 479 定格出力 7.4kW(10.0PS)/2800min ⁻¹ 最大出力 9.3kW(12.7PS)/3600min ⁻¹ 始動方式 セルスターター式 使用燃料 JIS2号軽油 燃料タンク容量(L) 37(ボイラーと共用)
ボイラー	設定温度 30℃~150℃ 出力(kcal/h) 56000
寸法	長さ×幅×高さ(mm) 1227×689×924
質量(kg)	300.0

電源不要で燃料は軽油のみの一体型

自吸方式に対応 湯水停止装置装備

安心の防水タイプ 大型燃料タンク

SEL-1325V-2

¥2,200,000

(税込 ¥2,420,000)

温水除草専用ガン



SSC-120

¥57,000

(税込 ¥62,700)

SSC-650

¥153,000

(税込 ¥168,300)

SSC-1000

¥165,000

(税込 ¥181,500)

商品の詳細は
次のページへ



PICK UP!

お問い合わせはこちらまで



高所・橋梁点検事業部

期間

2021年12月31日まで



温水除草とは？

植物の根本付近より約 90℃前後の高温水を散布し、植物根のタンパク質構造を変異させ育成障害を発生させることで除草作業が行えます。

植物は通常 42℃以上でプロテインが死滅し、2～3日かけて変色が進行していきます。

従来の除草方法（刈払機・除草剤散布・焼き払い）とは異なり、環境に優しい除草方法です。



散布している様子



3日後



散布している様子



3日後



温水除草の作業サイクル

作業時間は回数を重ねるごとに軽減

1回目 4～5月
生育初期に散布（地温 20℃前後）

植物が成長する時期に温水を根に散布することで成長を阻害

2回目 6～7月
散布（作業時間は短縮）

除草後に発芽した芽の根に再度ダメージを与え成長を阻害

3回目 9～10月
散布（作業時間はさらに短縮）

2回目同様、発芽した根にさらにダメージを与え成長を阻害



各種除草工法との比較

刈払機



メリット

- ・広範囲を短時間で作業できる。
- ・成長した長い雑草の駆除も可能

デメリット

- ・根は残っており、すぐ生えてくる
- ・作業音がうるさい
- ・小石や草が飛んでくるので危険
- ・ケーブルなどを切断するリスク

除草剤散布



メリット

- ・作業自体は簡単。根まで死滅することも可能

デメリット

- ・広範囲ではコストがかかる
- ・環境に悪影響を及ぼす危険がある
- ・残したい植物まで枯らしてしまう

焼き払い



メリット

- ・作業自体は簡単。根まで死滅することも可能

デメリット

- ・広範囲では高いコストがかかる
- ・環境に悪影響を及ぼす危険がある
- ・残したい植物まで枯らしてしまう
- ・雨の日の作業は難しい

温水散布



メリット

- ・水だけなので環境に優しい
- ・木や石があっても作業可能
- ・天候に左右されず作業可能
- ・ランニングコストが低い

デメリット

- ・火傷のリスクがあるので手袋は必須
- ・完全に死滅するので植物再生は難しい
- ・残したい植物まで死滅させてしまう懸念